

## 平成 26 年度 教員免許状更新講習・シラバス

講座番号	2	講座名	英語教育の理論と実践				
担当講師	開催地	時間数	日程	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法
S. L. ローゼン 馬本 勉 本岡 直子	広島キャンパス	6時間	8月11日 (月)	中学校・高等学校 英語科教諭	30人 (最少開催 人数3人)	講義	筆記
到達目標	英語学、英語教育学の各分野において、理論とその応用について理解を深め、実践の基盤を育む。						
<p><b>【講座の概要】</b>          本講座は、英語教育の背景となる基礎理論を学び、実践への応用を測ることを目的とする。具体的な指導法を考察するにあたり、次の各項目を中心とした講義および実習を行う。1) 言語と思考と文化の関係論を論じる言語理論、2) 語彙指導の理論と実践、3) 英文読解指導のためのワークシート作成講座</p>							
<p><b>【講座の内容】</b></p> <p><b>講義 1 : Language, Mind and Culture (担当 : S. L. ローゼン)</b>          語学教育と異文化コミュニケーション教育にとって重要となる言語理論に焦点をあてる。一日目は、言語と思考と文化の関係についての理論、特に、ソシュール、チョムスキー、ウィトゲンシュタイン、サピア・ウォーフの仮説、比喩研究など、重要な理論を扱う。二日目は、言語理論から得られる知見の英語教育への応用を試みる。クラッシュェンの「ナチュラル・アプローチ」がどのように日本の英語教育に適した教授法であるかを考察し、語学学習における文化的、言語的意味の重要さの点で、多くの言語理論の知見とどのように一致しているかを示す。使用テキストは次のサイトで8月1日より、無料入手可能である : <a href="http://stevenrosen.yolasite.com">http://stevenrosen.yolasite.com</a> 本講習は英語で行われる。</p> <p><b>講義 2 : 語彙指導をめぐる諸理論と実践 (担当 : 馬本 勉)</b>          ここで言う「語彙指導」とは、コミュニケーションの場面で英語の語句を用いることができるよう、学習者が「自らの頭の中の辞書 (= 語彙)」を拡充していく道筋を示すことである。本講義においては、英英辞典やワークシートの活用法や、ペアやグループ活動を通じて行う学習法を体験するとともに、歴史的・理論的な背景について理解を深める。</p> <p><b>講義 3 : 英文読解指導のためのワークシート作成講座 (担当 : 本岡 直子)</b>          リーディングの授業において、教師はどのような目標を考えて授業を構成するべきか、リーディング能力のとらえ方から考える。本講座においては、リーディング能力をどのようにとらえるか、理論の面から整理し、その能力をどのように育成するか、指導法やワークシート作成作業から考える。</p>							
<p><b>【備考】</b>          試験の際、講義テキストとノートの持ち込みを認めます。</p>							

注) 予備日は8月22日(金)とします。